

東京農工大学動物実験計画書

東京農工大学学長 殿

新規  変更・年度更新

提出年月日

2013年 10 月 30 日

受付年月日 2013年 10 月 30 日

受付番号

25-78

研究課題	獣医師の卒後再教育プログラム アドバンス イン 農工大！				
研究目的	獣医師の卒後教育のための大学主催公開講座の一貫として、外科手術の実習を実施する。				
動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ タナカアカネ	部局名 農学院	職 教授	動物実験の経験等 教育訓練受講の■有□無	
	氏名 田中 あかね	連絡先TEL: [REDACTED]			
	e-mail [REDACTED]				
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ、 選択項目を■)	松田 浩珍 ( マツダヒロシ )	農学院	教授	教育訓練受講の■有□無	
	[REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]			
	( ) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の□有□無	
	( ) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の□有□無	
	( ) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の□有□無	
	( ) @	連絡先TEL:		教育訓練受講の□有□無	
実験実施期間	2013年 11月 3日			中止・終了等	20( )年 月 日
飼養保管施設 及び 実験室	飼養保管施設 [REDACTED]			実験室 [REDACTED]	
使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質
	[REDACTED]				
研究概要 (研究計画と方法について、その概要を記入する。) 獣医師の卒後教育プログラム(平成19年度文部科学省採択時事業、平成22年度より本学の公開講座として運営中)における外科手術の実習					
実験方法 (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。)					
研究計画と方法	<p>手術実習に使用するイヌは、膝蓋骨の亜脱臼を有する実習犬であり、通常の手術と同様の鎮静や麻酔措置をして手術を行う。 獣医学科で実施されている学生実習(外科学実習)と同等の苦痛などのレベルである。</p> <p>【獣医師免許を取得し、5年以上の臨床経験がある獣医師に対する卒後講座として膝蓋骨脱臼整復術を習得させる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イソフルレン吸入麻酔により、皮膚および皮下組織を切開し、膝関節ヘアプローチする。</li> <li>・膝関節包を切開し、膝関節ヘアプローチする。</li> <li>・膝関節の頸骨面に造溝処置を施し、膝蓋骨脱臼を整復する。</li> <li>・膝関節包、皮下組織、皮膚を、吸収糸あるいは非吸収糸を用いて縫合する。</li> <li>・後肢全体にバンデージを巻いて、固定する。</li> <li>・1週間後に術創を消毒して、バンデージを巻き直す。</li> <li>・2週間後に抜糸を行う。</li> <li>・3週間目からリハビリテーションを実施し、歩行の回復を促す。</li> </ul> <p>飼い主のいる動物に対する手術に準じて、鎮痛剤や抗生物質を用いて苦痛や感染の防止措置を講ずる。手術後は通常通り、飼育室の衛生管理、飼養、散歩などに十分配慮して飼育する。</p>				

特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3 <input type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A <input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験 <input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験			
	動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 試験・研究 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 教育・訓練 <input type="checkbox"/> 3. その他	動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。 <input type="checkbox"/> 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。 <input type="checkbox"/> 3. その他(理由: )
想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■)				<input type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。 <input checked="" type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 <input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。
動物の苦痛軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。 <input type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。 <input type="checkbox"/> 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 <input type="checkbox"/> 5. その他 (具体的に記入: )			
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入: ) <input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス <input type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 (具体的に記入: 法) <input checked="" type="checkbox"/> 4. 安楽死させない (その理由を記入: 以降の学生実習や、シャンプーの開発試験に使用するため ) <input type="checkbox"/> 5. その他(具体的に記入: )			
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 外部業者に依託 <input type="checkbox"/> 2. その他 (具体的に記入: )			
その他必要または 参考事項	<p>(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況、実験動物の過齢などを記入する。)</p> <p>当該のイヌについては 承認番号: 第 24-96 号 「高純度軟水用いたシャンプー療法のイヌ皮膚に及ぼす影響」での使用がすでに許可され導入・飼育していましたが、膝蓋骨の亜脱臼が認められていたため、外科手術により整復することとし、それを獣医師の卒後教育講座として、松田浩珍教授が受講を希望する 2 名の獣医師とともに施術することにしました。本講座は、本学で公開講座として承認され広報されており、受講予定者 2 名は、すでに受講料を大学に支払っております。</p>			

委員会記入欄	審査終了: 20(13)年 10月 31 日
	修正意見等
<p>審査結果 ■ 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合する。        (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。)  <input type="checkbox"/> 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合しない。</p>	

学長承認欄	審査終了: 20(13)年 10月 31 日
	本実験計画を承認します。  承認番号: 第 25-78 号
東京農工大学長(法人印省略)	

東京農工大学動物実験計画書

東京農工大学学長 殿

新規  変更・年度更新

提出年月日

2014年 6月 24日

受付年月日

2014年 6月 24日

受付番号

26-54

研究課題	獣医師の卒後再教育プログラム アドバンス イン 農工大！				
研究目的	獣医師の卒後教育のための大学主催公開講座の一貫として、身体検査や外科手術の実習を実施する。				
動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ タナカ アカネ	部局名	職	動物実験の経験等	
	氏名 田中 あかね e-mail [REDACTED]	農学院	教授	教育訓練受講の■有□無	
	連絡先TEL: [REDACTED]				
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ、 選択項目を■)	田中 あかね ( タナカ アカネ ) [REDACTED]	農学院	教授	教育訓練受講の■有□無	
	[REDACTED] ( [REDACTED] ) [REDACTED]	農学院	[REDACTED]	教育訓練受講の■有□無	
	連絡先TEL: [REDACTED]				
	松田 浩珍 ( マツダ ヒロシ ) [REDACTED]	農学院	教授	教育訓練受講の■有□無	
	連絡先TEL: [REDACTED]				
	( [REDACTED] ) @ [REDACTED]	連絡先TEL:		教育訓練受講の□有□無	
	( [REDACTED] ) @ [REDACTED]	連絡先TEL:		教育訓練受講の□有□無	
実験実施期間	承認後 ~ 20(14)年 11月3日			中止・終了等	20( )年 月 日
飼養保管施設 及び 実験室	飼養保管施設	[REDACTED]		実験室	[REDACTED]
使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質
	[REDACTED]				[REDACTED]
研究計画と方法	<p><b>研究概要</b> (研究計画と方法について、その概要を記入する。)          獣医師の卒後教育プログラム(平成19年度文部科学省採択授業、平成22年度より本学の公開講座として運営中)における身体検査や外科手術の実習</p> <p><b>実験方法</b> (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。)          イヌを使用して実施するのは、獣医師の卒後教育プログラム「アドバンス イン 農工大」が主催する公開講座である。          ○一般臨床検査では、視診、聴診、触診、レントゲン検査、採血等を行う。          ○外科手術の基礎(麻酔法)では、通常の手術と同様の鎮静や麻酔処置を実施し、その後、覚醒を促す。          ○手術実習に使用するイヌは、膝蓋骨の亜脱臼を有する実習犬であり、通常の手術と同様の鎮静や麻酔措置をして手術を行う。          獣医学科で実施されている学生実習(外科学実習)と同等の苦痛などのレベルである。          【獣医師免許を取得し、5年以上の臨床経験がある獣医師に対する卒後講座として膝蓋骨脱臼整復術を習得させる】          ・イソフルレン吸入麻酔により、皮膚および皮下組織を切開し、膝関節ヘアプローチする。          ・膝関節包を切開し、膝関節ヘアプローチする。          ・膝関節の頸骨面に造溝処置を施し、膝蓋骨脱臼を整復する。          ・膝関節包、皮下組織、皮膚を、吸収糸あるいは非吸収糸を用いて縫合する。          ・後肢全体にバンデージを巻いて、固定する。          ・1週間後に術創を消毒し、バンデージを巻き直し、2週間後に抜糸、3週間目からはリハビリテーションを実施し、歩行の回復を促す。          飼い主のいる動物に対する手術に準じて、鎮痛剤や抗生物質を用いて苦痛や感染の防止措置を講ずる。手術後は通常通り、飼育室の衛生管理、飼養、散歩などに十分配慮して飼育する。       </p>				

特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3		
	<input type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A		
	<input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験		
	<input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験		
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 試験・研究	動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 教育・訓練		<input type="checkbox"/> 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。
	<input type="checkbox"/> 3. その他		<input type="checkbox"/> 3. その他(理由: )
想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。		
	<input checked="" type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。		
	<input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。		
	<input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。		
動物の苦痛軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。		
	<input type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (プロポフオール4ml 静脈内投与、イソフルラン2%吸入麻酔 )		
	<input type="checkbox"/> 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 )		
	<input type="checkbox"/> 5. その他 (具体的に記入: )		
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入: )		
	<input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス		
	<input type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 (具体的に記入: 法)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 安楽死させない (その理由を記入: 以降の学生実習や、シャンプーの開発等に使用するため )		
	<input type="checkbox"/> 5. その他(具体的に記入: )		
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 外部業者に依託		
	<input type="checkbox"/> 2. その他 (具体的に記入: )		
その他必要または 参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況、実験動物の週齢などを記入する。)  当該のイヌについては、承認番号: 第 24-96 号「高純度軟水用いたシャンプー療法のイヌ皮膚に及ぼす影響」での使用がすでに許可され導入・飼育しているものです。		

委員会記入欄	審査終了: 20( 14 )年 7月 4日
	修正意見等
	審査結果 ■ 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。) □ 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合しない。

学長承認欄	承認: 20( 14 )年 7月 4日
	本実験計画を承認します。
	承認番号: 第 26-54 号
	東京農工大学長 (法人印省略)

# 東京農工大学動物実験計画書

東京農工大学学長 殿

新規  変更・年度更新

提出年月日

2015年 2月 12日

受付年月日

2015年 2月 12日

受付番号

26-111

研究課題	獣医師の卒後再教育プログラム アドバンス イン 農工大！				
研究目的	獣医師の卒後教育のための大学主催公開講座の一貫として、身体検査や外科手術の実習を実施する。				
動物実験責任者名 (選択項目を■)	フリガナ タナカ アカネ	部局名	職	動物実験の経験等	
	氏名 田中 あかね	農学研究院	教授	教育訓練受講の■有□無	
	e-mail [REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]			
動物実験実施者名 (括弧内にフリガナ、 選択項目を■)	田中 あかね ( タナカ アカネ ) [REDACTED]	農学研究院	教授	教育訓練受講の■有□無	
	松田 浩珍 ( マツダ ヒロシ ) [REDACTED]	農学研究院	教授	教育訓練受講の■有□無	
	( ) [REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		教育訓練受講の□有□無	
	( ) @ [REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		教育訓練受講の□有□無	
	( ) @ [REDACTED]	連絡先TEL: [REDACTED]		教育訓練受講の□有□無	
実験実施期間	承認後 ~ 20(15)年 11月 29日			中止・終了等	20( )年 月 日
飼養保管施設 及び 実験室	飼養保管施設 [REDACTED]			実験室	[REDACTED]
使用動物	動物種	系統	性別	匹数	微生物学的品質 入手先(導入機関名) 備考
	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
研究計画と方法	<p><b>研究概要</b> (研究計画と方法について、その概要を記入する。)          獣医師の卒後教育プログラム(平成19年度文部科学省採択授業、平成22年度より本学の公開講座として運営中)における身体検査や外科手術の実習</p> <p><b>実験方法</b> (動物に加える処置、使用動物数の根拠を具体的に記入し、「想定される苦痛のカテゴリー」や「動物の苦痛軽減・排除方法」等と整合性をもたせる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○一般臨床検査では、視診、聴診、触診、レントゲン検査、採血等を行う。</li> <li>○外科手術の基礎(麻酔法)では、通常の手術と同様の鎮静や麻酔処置を実施し、その後、覚醒を促す。</li> <li>○手術実習に使用するイヌは、膝蓋骨の亜脱臼を有する実習犬であり、通常の手術と同様の鎮静や麻酔措置をして手術を行う。</li> <li>獣医学科で実施されている学生実習(外科学実習)と同等の苦痛などのレベルである。</li> </ul> <p>【獣医師免許を取得し、5年以上の臨床経験がある獣医師に対する卒後講座として膝蓋骨脱臼と前十字靱帯断裂の整復術を習得させる】・インフルレン吸入麻酔により、皮膚および皮下組織を切開し、膝関節へアプローチする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・膝関節包を切開し、膝関節へアプローチする。</li> <li>・膝関節の頸骨面に造溝処置を施し、膝蓋骨脱臼と前十字靱帯断裂を整復する。</li> <li>・膝関節包、皮下組織、皮膚を、吸収糸あるいは非吸収糸を用いて縫合する。</li> <li>・後肢全体にバンデージを巻いて、固定する。</li> <li>・1週間後に術創を消毒し、バンデージを巻き直し、2週間後に抜糸、3週間目からはリハビリテーションを実施し、歩行の回復を促す。</li> <li>飼い主のいる動物に対する手術に準じて、鎮痛剤や抗生素質を用いて苦痛や感染の防止措置を講ずる。手術後は通常通り、飼育室の衛生管理、飼養、散歩などに十分配慮して飼育する。</li> </ul>				

特殊実験区分 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 感染実験 安全度分類: <input type="checkbox"/> BSL1 <input type="checkbox"/> BSL2 <input type="checkbox"/> BSL3		
	<input type="checkbox"/> 2. 遺伝子組換え動物使用実験 区分: <input type="checkbox"/> P1A <input type="checkbox"/> P2A <input type="checkbox"/> P3A		
	<input type="checkbox"/> 3. 放射性同位元素・放射線使用実験		
	<input type="checkbox"/> 4. 化学発癌・重金属実験		
動物実験の種類 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 試験・研究	動物実験を 必要とする理由 (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 教育・訓練		<input type="checkbox"/> 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。
	<input type="checkbox"/> 3. その他		<input type="checkbox"/> 3. その他(理由: )
想定される 苦痛のカテゴリー (選択項目を■)	<input checked="" type="checkbox"/> B. 脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。		
	<input checked="" type="checkbox"/> C. 脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。		
	<input type="checkbox"/> D. 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み(長時間持続するもの)を伴うと思われる実験。		
	<input type="checkbox"/> E. 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近い またはそれ以上の痛みを与えると思われる実験。		
動物の苦痛軽減、 排除の方法 (該当項目をすべて■)	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。		
	<input type="checkbox"/> 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入: イソフルラン吸入麻酔 )		
	<input type="checkbox"/> 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。 )		
	<input type="checkbox"/> 5. その他 (具体的に記入: )		
安楽死の方法 (該当項目をすべて■)	<input type="checkbox"/> 1. 麻酔薬等の使用 (具体的薬剤名及びその投与量・経路を記入: )		
	<input type="checkbox"/> 2. 炭酸ガス		
	<input type="checkbox"/> 3. 中枢破壊 (具体的に記入: 法)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 4. 安楽死させない (その理由を記入: 以降の学生実習や、卒後教育実習等に使用するため )		
	<input type="checkbox"/> 5. その他(具体的に記入: )		
動物死体の処理方法 (選択項目を■)	<input type="checkbox"/> 1. 外部業者に依託		
	<input type="checkbox"/> 2. その他 (具体的に記入: )		
その他必要または 参考事項	(過去の動物実験計画書承認実績、学内の関連委員会への申請状況、飼養保管施設・実験室の承認状況、実験動物の週齢などを記入する。) 昨年度も同様に申請して、承認されております。		

委員会記入欄	審査終了: 20( 15 )年 2月 18日
	修正意見等
	審査結果 ■ 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合する。 (条件等 <input type="checkbox"/> 遺伝子組換え実験安全委員会の承認後、実験を開始すること。) □ 本実験計画は、東京農工大学における動物実験規程等に適合しない。

学長承認欄	承認: 20( 15 )年 2月 18日
	本実験計画を承認します。
	承認番号: 第 26-111 号
	東京農工大学長 (法人印省略)